

2024年度の運用実績サマリー

収益率

2024年度 **+0.57%** 年率

超過収益率 (複合ベンチマーク対比)

2024年度 **+0.68%** (ベンチマーク：-0.11%)

運用収益

+3.2億円 年間 資産運用による収益

総資産額

2024年度
末時点 **552億円**

資産構成 割合

〈従来の政策アセットミックス〉【リターン：2.3%】【リスク：4.1%】

一般勘定 22.0%	国内債券 21.8%	ヘッジ外債 21.8%	外国債券 8.0%	国内株式 10.7%	外国株式 10.7%	オルタナ (HF) 5.0%
---------------	---------------	----------------	--------------	---------------	---------------	----------------------

〈新政策アセットミックス〉【リターン：2.3%】【リスク：3.9%】

一般勘定 28.0%	国内債券 11.0%	ヘッジ外債 22.0%	外国債券 8.0%	国内株式 14.0%	外国株式 7.0%	オルタナ (HF) (PA) 5.0%
---------------	---------------	----------------	--------------	---------------	--------------	---------------------------

積立水準

継続基準 **138%** 将来の退職金支払のために必要な資産を
100とした場合の比率(国の基準：100%以上)

業務委託費 ・運用報酬

2.4億円

資産運用結果

	時価残高(百万円)	構成割合(%)	収益率(%)	対ベンチマーク(%)
国内債券	3,481	6.3	▲3.93	+0.80
ヘッジ外債	11,956	21.7	▲1.33	+0.02
一般勘定	15,354	27.8	1.38	+0.68
国内株式	7,668	13.9	0.31	+1.85
外国債券	4,729	8.6	2.25	+0.47
外国株式	3,824	6.9	7.11	+0.29
オルタナ (ヘッジファンド)	2,818	5.1	2.20	+1.97
オルタナ (プライベートアセット)	2,666	4.8	▲5.03	▲5.03
その他	2,665	4.8	期末商品入れ替えの キャッシュ等	—
資産合計	55,162	100.0	0.57	+0.68

2024年度のトピックス

1) 2024年4月政策アセットミックスの見直し

2024年4月に政策アセットミックスの見直しを行いました(企業年金基金は法に基づいて運営しており、年度は4月から3月まで)。政策アセットミックスの見直しも法に基づいて5年に一度行っています。

運用収益目標(期待収益率)は2.3%をキープし、リスクは従来の4.1%から3.9%に落とすという内容です。また変更のポイントは2点です。

- ・運用収益が過去3年ベンチマークを下回ったという課題への対応として、パフォーマンスの悪いアクティブファンドをパッシブ化して市場に追従するという変更を実施しました。
- ・国内債券の比率を減らし、一般勘定とオルタナ PA プライベートアセットの比率を増やしています。

2024年度の収益率は+0.57%となりました。期末2025年1月以降のディープシークショック等の調整により期待収益率(2.3%)は下回りましたが、見直した政策アセットミックスの効果もありベンチマーク(-0.11%)に対して、0.68%上回ることができました。期末の資産残高は、552億円となり、前期末から約6.5億円の減少となっています。このような運用の結果、基金の財政状況を見極める「継続基準」「非継続基準」とともに基準値を十分に満たしており、基金財政は問題なく健全な状態にあります。

2) 国内金利上昇への対応

国内金利の上昇に対応(一般的に金利が上昇すると債券価格は下落)するために2025年3月(一部4月)に国内債券に関する運用商品の見直しを実施しました。

2024年4月の政策アセットミックス見直し時に、金利上昇を見越して金利上昇耐性のある商品の導入を実施していました。その後2024年7月と2025年1月に政策金利が上昇し、今後も金利上昇が続く可能性が高いと考え、未対策の国内債券資産約40億円も金利上昇耐性のある資産(持切りの利率固定商品、短期債等)への切り替えを行いました。この変更で、国内債券約63億円(比率11%)は全て金利上昇耐性のある商品になりました。

変更した商品は、2025年4月以降狙い通りベンチマークを上回っています(2025年9月時点)。

